



Tottori Univ. Art Center Report

鳥取大学地域学部附属芸術文化センター

事業報告

平成19～22年度



ごあいさつ

芸術文化センター事業報告(H19～H22)が出来上がりました。

既に平成19年度には平成16年度から平成18年度に至る3年間の主な事業をまとめた報告書を発刊しています。本芸術文化センター事業報告は平成19年度から平成22年度の4年間の主な事業の成果についてまとめました。今回、センター教員の紹介ページ等に加え、「芸術文化コース」を希望する受験生にとっても分かりやすい内容の報告書を目指しました。

平成16年4月鳥取大学に、初めて、地域の芸術文化の振興に役立つための研究と教育を行なう組織として設置された鳥取大学地域学部附属「芸術文化センター」は平成23年度で8度目の春を迎えます。

音楽・美術・舞踊・アートマネジメントと専門の異なる教員7名が、それぞれの専門分野を活かしたオリジナル研究を行い、それを基盤に鳥取という地域を主なフィールドとして、地域における「芸術文化の頂点の伸長と裾野の拡大」に貢献すべくこれまで努力を重ねてきました。

この事業報告はより多くの方々に芸術文化センターの活動を知って頂くと共にこれまでの事業を振り返り、その成果と課題についての自己評価を行ない、今後のより充実した事業展開の礎とするべく作成したものです。

どうぞ本報告書をご一読の上、忌憚の無いご意見・ご批評をお寄せください。

本報告書により、芸術文化センターが、みなさまにとってより身近なものとなりますことを心より願っております。

鳥取大学地域学部附属芸術文化センター
センター長 石谷孝二



芸術文化センターの活動

芸術文化センターでは教員各自が固有の教育研究領域を設定し、芸術文化分野における専門性を生かしたオリジナル研究を行っています。芸術文化活動における、個人や団体の創造主体、享受者、支援者(自治体職員、教職員などや、NPO、メセナ等)それぞれの役割を尊重しつつ、地域における芸術文化の発展のために、それらの量的拡大と質の向上に、理論的・実践的に寄与しています。

鳥取という地域を主なフィールドとしつつ、開かれた地域研究の一環として、地域の芸術文化の振興、その創造と発展、継承に役立つための研究と教育を展開しています。

現在7名の教員からなる附属芸術文化センターでは、芸術文化に関わる教育支援を行うとともに、地域と密接な連携をはかって、さまざまな地域貢献事業を実施し、地域の芸術文化活動を支援してきました。

芸術文化センターは、地域の文化発展に欠かせない芸術文化の発展に寄与し、地域における芸術文化の「頂点の伸長と裾野の拡大」に貢献しています。

芸術文化センターと芸術文化コースの関係

平成21年度より鳥取大学地域学部は地域文化学科に「芸術文化コース」を開設しました。主として当芸術文化センター教員の指導のもと、音楽・美術・舞踊及びアートマネジメントを学ぶことができるコースです。

少人数のメリットを生かし、音楽・美術・舞踊などの実技や理論、また、芸術文化を通じて地域を活性化するアートマネジメントについて実践的に学ぶことができます。

地域学部地域文化学科「芸術文化コース」は芸術文化センターの活動と密接に連動しながら芸術文化について学べるコースとして地域文化学科の中に設定されています。

音楽・美術・舞踊などの芸術実践に興味を持ち積極的に学びたい人、アートマネジメントについて幅広く学びたい人を求めます。



目次

どんな人がいるの？ 教員プロフィール	5
-----------------------	---

どんなことをしているの？ 各年度事業報告	
-------------------------	--

平成19年度	20
--------	----

平成20年度	46
--------	----

平成21年度	70
--------	----

平成22年度	102
--------	-----

講義紹介	140
------	-----

どんなところなの？ 芸術文化センターの紹介 「芸術文化コース」の紹介 アクセス・入試情報	142
---	-----